

# 岐阜新聞真学塾

出題 蟻雪ゼミナール 忠節校・安田弘之

## 問題【英語】

今日は関係代名詞を使ってみよう！

問 空所に関係代名詞(who, which, that)を埋め、つながる文章にしてください。

- 1) That is a man ( ) likes tennis.
- 2) I like the book ( ) has many beautiful pictures.
- 3) I ate sushi ( ) was cooked at the restaurant.
- 4) I have a cute small dog ( ) is sometimes noisy when someone comes home.



## 『深イイ』関係代名詞

なぜ日本語には関係代名詞がないのに、英語にはあるのだろうか。以前、英語を勉強し始めた時に不思議に思ったかすかな記憶があります。今は、その理由ははっきりしています。日本語と英語の言葉のグループが違うからです。

日本語は、主要部後行型言語に属しています。“（テニスが好きな）人”のように、先に修飾語が来て、後の名詞を修飾しています。反対に、英語は主要部先行型言語です。“a man (who likes tennis)”のように先に名詞があり、名詞を説明する修飾語が続きます。

関係代名詞がない場合で比べましょう。

日本語) あの人は、テニスが好きなひとです。

英語) That is a man likes tennis.

日本語の場合は、関係代名詞がなくても修飾する箇所（テニスが好きな）がはっきりしているのに対して、英語の場合は、関係代名詞がないと、That is / a man likes tennisなのか、That is a man / likes tennisなのか、どこが意味の切れ目でどこが修飾する部分か不明瞭です。That is a man (who likes tennis). のように関係代名詞を入れることで、名詞を詳しく述べる箇所を明瞭にできます。

ところで、日本語と同じ主要部後行型言語の韓国語やモンゴル語は関係代名詞を持っていませんし、英語と同じ主要部先行型言語であるフランス語、ドイツ語、スペイン語のようなヨーロッパの言語は関係代名詞を持っています。ですから、関係代名詞が難しいのは、日本人だけではないんですね。

関係代名詞の選び方は、解答の通りです。

## 【解答】

too (who)

- 1) who / that 直前の名詞を元の名詞、who / that
- 2) which / that 直前の名詞を元の名詞、which / that
- 3) which / that 直前の名詞を元の名詞、which / that
- 4) which / that (who) 直前の名詞を元の名詞、which / that